

支援機器等教材活用実践事例フォーマット

実践年度・タイトル		平成(30)年度 漢字の筆順アプリを使用した漢字の書きの指導 (個別指導)
授業について	教科名等	<input checked="" type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他()
	単元・題材名	既習漢字の習得
	授業の目標	①漢字の正しい形と書き順を身につける。 ②読みから漢字を再生できる。
	学力の3要素	<input checked="" type="checkbox"/> 「知識及び技能」 <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」 <input checked="" type="checkbox"/> 「主体的に学習に取り組む態度」
学習集団と子供の実態	学校・学部・学年・人数	<input type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input checked="" type="checkbox"/> その他(個別の取り出し指導) <input type="checkbox"/> 就学前 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない (3)年(1)人、(6)年(1)人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input type="checkbox"/> LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
	子供の困難さ	<input checked="" type="checkbox"/> 見ること <input type="checkbox"/> 聞くこと <input type="checkbox"/> 話すこと <input checked="" type="checkbox"/> 読むこと <input checked="" type="checkbox"/> 書くこと <input type="checkbox"/> 動くこと <input type="checkbox"/> コミュニケーションをすること <input type="checkbox"/> 気持ちを表現すること <input type="checkbox"/> 落ち着くこと・集中すること <input type="checkbox"/> 概念(時間、大きさ等)を理解すること <input type="checkbox"/> 学習(計算、推論等)すること <input type="checkbox"/> その他 ・漢字の書きにつまずきがみられる。 ・その背景に、形・空間の認知や目と手の協応に弱さがあると推測される。
支援機器等教材の活用について	活用の意図	Aコミュニケーション支援(<input type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(<input type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援(<input checked="" type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援) D実態把握支援(<input type="checkbox"/> D1実態把握支援) ○手書きで簡単に漢字を検索することができ、部首、読み、熟語などを調べることができる。 ○筆順のガイドに沿って1画ずつ指でなぞることで、漢字の正しい形と筆順を練習することができる。 ○鉛筆で書くことに苦手さやぎこちなさがある児童でも、指でなぞることには抵抗感が少なく、スムーズに動かしやすい。
	使用した支援機器等教材の名称と画像	常用漢字筆順辞典 (NOWPRODUCTION CO.,LTD) iOS App © 2019 NOWPRODUCTION ※右の画像は下記HPより転用 https://itunes.apple.com/jp/app/常用漢字筆順辞典-広告付き/id453410542?l=en&platform=ipad
授業展開	授業展開・支援の手立て	取り出しの個別指導の時間内に1回約10分実施した。回数は児童により異なるが、いずれの児童も複数回行った。その日の個別指導で扱った漢字について、筆順のガイドに沿って1画ずつ指でなぞり、漢字の形や筆順を何度か練習した。また、指導中に、読めない漢字や書けない漢字がある場合には、漢字辞典として使用した。
効果・評価	子供の様子や変容および授業の評価	・指導の効果を確認するため、その日の指導の最初と最後に、漢字の書きテストを行った。また、定着度を確認するため、次の指導日にもテストを行った。その結果、両名ともに、最初に書けなかった漢字が、同日最後に実施したテストでは正しい形で書けるようになったものが多くあった。日にちを空けて行ったテストにおいても、正しい形で書けた漢字が複数あった。一方、書き順については、誤りが多くみられ、定着の難しさが窺えた。 ・授業の最後の確認テストで書けなかった漢字は、自らアプリで何度も練習していた。 ・わからない漢字があると、自ら進んでアプリで検索するようになった。 ・アプリの使用を重ねていく中で、字を整えて書こうとしたり、細部の違いを意識する様子が見られるようになった。

